

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3102003号
(U3102003)

(45) 発行日 平成16年6月24日(2004.6.24)

(24) 登録日 平成16年3月17日(2004.3.17)

(51) Int.Cl.⁷

F I

A 4 7 B 96/00

A 4 7 B 96/00

A

A 4 7 B 83/00

A 4 7 B 83/00

A 6 3 B 71/04

A 6 3 B 71/04

A 6 3 H 33/00

A 6 3 H 33/00

Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 実願2003-272804 (U2003-272804)

(22) 出願日 平成15年12月1日(2003.12.1)

(73) 実用新案権者 594045805

株式会社松岡製作所

広島県広島市西区商工センター8丁目9番
33号

(74) 代理人 100074055

弁理士 三原 靖雄

(72) 考案者 松岡 幹太郎

広島県広島市佐伯区観音台1丁目14-1
8

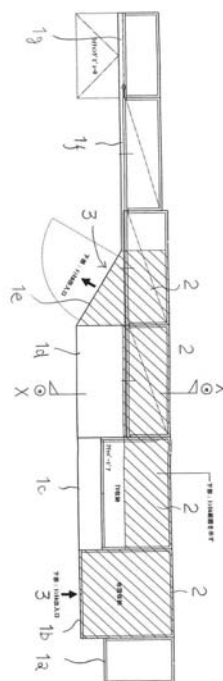
(54) 【考案の名称】 探検通路および遊びスペースを有する壁収納家具

(57) 【要約】

【課題】 壁収納家具を一部改良することにより、子供達が探検・冒険心をもって遊ぶことができ、しかも、満足することのできる探検通路を有する壁収納家具を開発・提供するものである。

【解決手段】 一または複数の家具(1a, 1b, 1c・・・)を列設した収納家具において、それぞれの家具の一部に、探検用の通路(2)を形成すると共に、一部の家具に出入口(3)を形成したことを特徴とする探検通路を有する壁収納家具から構成されるものであり、また、一または複数列設した事務用家具等の家具において、その一部に通路に明かりとり穴(10)を形成したことを特徴とする請求項1記載の探検通路を有する壁収納家具である。

【選択図】 図2



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

一または複数の家具を列設した収納家具において、それぞれの家具の一部に、探検用の通路を形成すると共に、一部の家具に出入口を形成したことを特徴とする探検通路および遊びスペースを有する壁収納家具。

【請求項 2】

一または複数列設した事務用家具等の家具において、その一部に通路に明かりとり穴を形成したことを特徴とする請求項 1 記載の探検通路および遊びスペースを有する壁収納家具。

【考案の詳細な説明】

10

【技術分野】

【0001】

この考案は、探検通路および遊びスペースを有する壁収納家具に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来、幼稚園等の壁面に設置する壁収納家具は、単に、昼寝用の寝具や積木等のおもちゃ類の収納や、掃除道具入れ、ロッカー等が壁面に沿って設けられている。

【0003】

しかし、壁収納家具は、室内に広い空間を保持するために、各家具を壁面に沿って、列接しているものであり、幼稚園児等の子供達にとっては、単に、広い場所で、しかも明るい場所でのみで遊ぶわけではなく、例えば、穴などの暗い場所に好んで入り込み、探検・冒険心をもって遊びたいものである。

【0004】

しかしながら、教室等の室内のスペースは限られており、別に、探検することのできる施設を設けることは、費用がかかる等問題があった。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0005】

そこで、この考案は、既存に設置される壁収納家具を一部改良することにより、子供達が探検・冒険心をもって遊ぶことができ、しかも、満足することのできる探検通路および遊びスペースを有する壁収納家具を開発・提供するものである。

【課題を解決するための手段】

【0006】

この考案は、一または複数の家具を列設した収納家具において、それぞれの家具の一部に、探検用の通路を形成すると共に、一部の家具に出入口を形成したことを特徴とする探検通路を有する壁収納家具であり、その家具の一部に通路に明かりとり穴を形成した探検通路および遊びスペースを有する収納家具である。

【考案の効果】

【0007】

この考案によると、壁収納家具でありながら、その家具の中に通路を形成することにより、子供達に、探検・冒険心を培い・養うことにより、自立した園児教育を図ることができ、また、内部にテーブルや椅子等を持ち込み、ままごと遊び等の遊びができ、当然、従来とおり、収納家具としても使用でき、家具の奥行き寸法に厚みを増すことにより、収納家具が安定して置け、さらに、奥行き寸法の薄い家具も、これらの家具と一体に固定して列設することにより、倒れたりせず、安定性を増す等の効果を有するものである。

【考案を実施するための最良の形態】

【0008】

この考案の一実施例を詳述すると、一または複数の家具（1a, 1b, 1c・・・1g）を列設した収納家具において、それぞれの家具の一部に、探検用の通路（2）を形成すると共に、一部の家具に出入口（3）を形成したことを特徴とする探検通路および遊びス

50

ースを有する壁収納家具から構成されるものである。

【0009】

尚、図1に基づいて、この考案の一実施例を具体的に説明すると、図面右端は、掃除道具入れ(1a)であり、通路は存在しない。

【0010】

この掃除道具入れ(1a)に隣接の布団収納家具(1b)には、下部に出入口(3)を設けており、上部に布団を収納できるように構成されている。

【0011】

さらに、布団収納(1b)には隣接してテレビ収納室(4)を上部に設け、中部には、園児の洋服等をかけておくロッカー(5a)となっており、下部には、キャスター付き収納棚(6a)を有する収納家具(1c)が設けられている。 10

【0012】

また、収納家具(1c)に隣接して、上部に、背部に棚を有する掲示板(7a)を有し、中部には、園児の洋服等をかけておくロッカー(5b)となっており、下部にキャスター付き収納棚(6b)を有する収納家具(1d)が設けられている。

【0013】

さらに、収納家具(1d)に隣接して、上部に、背部に棚を有する掲示板(7b)を有し、下部に園児の洋服等をかけておくロッカー(5c)と、出入り口(3)を設けた収納家具(1e)が設けられている。

【0014】

そして、これら布団収納家具(1b)、収納家具(1c)、収納家具(1d)には探検用の通路(2)が設けられており、これらの各収納家具どうしは、該通路(2)が連通しているものである。 20

【0015】

さらに、収納家具(1e)に隣接して、探検用の通路(2)の存在しない、上部が、背部に棚を有する掲示板(7c)で、中部が園児の洋服等をかけておくロッカー(5d)、そして下部がキャスター付き収納棚(6c)を有する収納家具(1f)が設けられている。

【0016】

そして、最後に、収納家具(1e)に隣接して、上部に棚(8)を有し、下部にライティングビューロ(9)を有する家具(1g)が設けられている。 30

【0017】

尚、探検用の通路を有する収納家具には、ところどころに、通路に明かりとり穴(10)を形成するものであり、それにより、通路内に光が射し、探検用の通路(2)を通る、怖さを半減させる効果もあり、この明かりとり穴は、開閉可能にしておけば、暗さを選択できる。

【0018】

さらに、各収納家具の上端には、屋根(11)や煙突(12)を形成したりすることも可能である。さらに、通路(2)にテーブルや椅子等を持ち込んで、ままごと遊び等を行うことも可能である。 40

【0019】

しかし、図面において、この考案の一実施例を図示したが、これらの家具の数や形状・構造に限定されることなく、また、並べ方においても限定するものではない。

【産業上の利用可能性】

【0020】

この考案は、壁収納家具の一部に探検用の通路を形成することにより、その製造技術および使用方法を確立し、かつ寄与する点で、産業上の利用可能性を有する。

【図面の簡単な説明】

【0021】

【図1】この考案の一実施例を示す正面図である。 50

【図 2】 この考案の一実施例を示す平面図である。

【図 3】 図 2 中 X－X 断面図である。

【符号の説明】

【 0 0 2 2 】

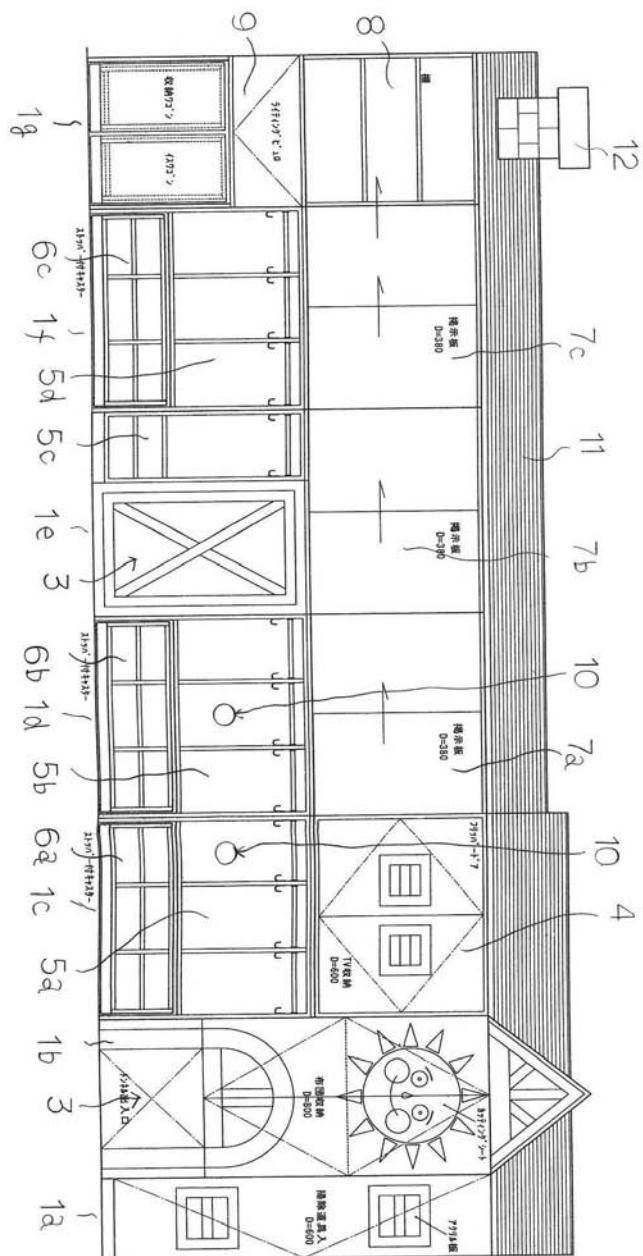
1 a, 1 b 等 家具

2 通路

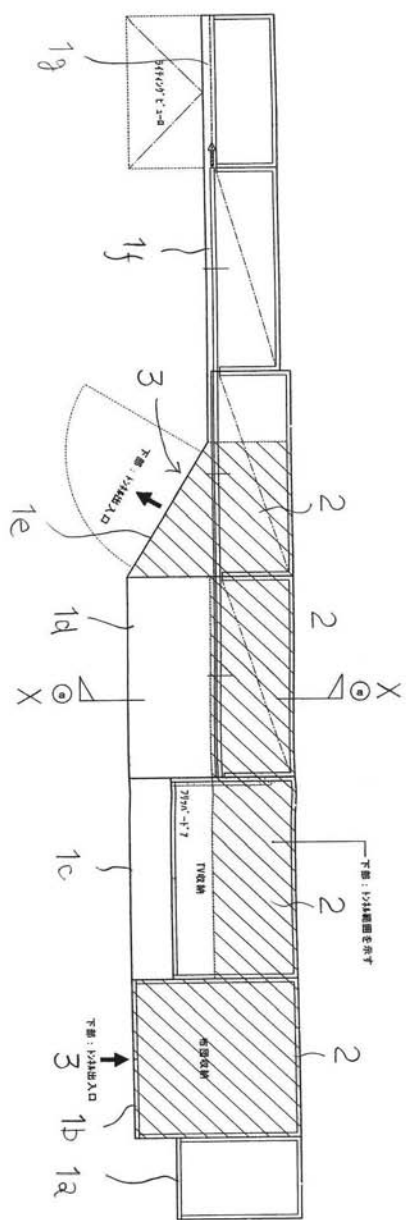
3 出入口

1 0 明かりとり穴

【図 1】



【図 2】



【図 3】

